

## 1

特集

循環器疾患を持つ高齢者のメンタルヘルスケア

—不眠, せん妄, 認知症—

# 循環器疾患を持つ 高齢者によくみられる 不眠, せん妄, 認知症



**竹原 歩** (兵庫県立大学 看護学部 生涯広域健康看護講座 精神看護学 助教,  
兵庫県立姫路循環器病センター 看護部 精神看護専門看護師 (非常勤))

**玉田夜子** (兵庫県立姫路循環器病センター 看護部, 老人看護専門看護師)

**北井 愛** (兵庫県立姫路循環器病センター リハビリテーション科, 臨床心理士)

**嶋田兼一** (兵庫県立姫路循環器病センター 高齢者脳機能治療室 部長)

## point

- メンタルヘルスの問題は、より高齢で、より疾患の重症度が高い患者と関連している！
- メンタルヘルス支援のポイントは、高齢者の特性に配慮した心身両面の支援が適切に提供されることである！

## はじめに

循環器医療の臨床で精神科リエゾンチームの活動を行っている時、せん妄や認知症による不穏や、さまざまな要因によって起こる不眠が、相談の多くを占めることを経験します。高齢で、疾患の重

症度の高い患者が多いため、副作用に配慮した薬物療法と、高齢者の特性に合わせた看護ケアが必要となります。

本章ではまず最初に、筆者が所属している、循

環器医療の臨床で活動する精神科リエゾンチームを紹介します。続いて、その精神科リエゾンチームに寄せられる相談の多くを占めている不眠, せん

妄, 認知症について取り上げ、精神科リエゾンチームの活動の実際と照らし合わせながら概説します。

## 循環器医療の臨床における 精神科リエゾンチームの活動の実際

### リエゾン精神医療とは

リエゾン精神医療とは、身体疾患患者が抱えるメンタルヘルスの問題に対して、関係している医療者間の相談と連携を実践する精神医療の一分野です。身体疾患患者の診療とケアにあたる医師・看護師から相談を受けて実践されます。身体疾患患者のメンタルヘルスの問題は、不眠や不安, 抑うつ, 自殺企図, せん妄, 認知症など多岐にわたります。

### 精神科リエゾンチームの活動

多くの施設で、主に入院患者のメンタルヘルス支援を専門とする精神科リエゾンチーム (メモ1) が構成されています。兵庫県立姫路循環器病センターの精神科リエゾンチームは、老年精神科医・臨床心理士・老人看護専門看護師・薬剤師・医療安全管理者, およびリエゾン精神看護専門看護師 (メモ2) で構成され、その回診のなかで医師・看護師よりメンタルヘルスの問題を抱えた患者の相談を受けています。

精神科リエゾンチーム回診は週1回実施し、精神科リエゾンチームのメンバーで全病棟をラウンドし、入院患者のメンタルヘルスの問題について医師・看護師から相談を受けています。兵庫県立姫路循環器病センターは高齢患者が多く、とくにせん妄や認知症による問題が多くみられるので、これを「せん妄回診」と呼んでいます。

回診にはさまざまな相談が寄せられます (図1)。最も多い相談がせん妄や認知症の行動上の問題として起こる不穏です。相談の半数を占めており、患者・家族の苦痛が大きいという点に、安全に医療が提供できないという問題から医療者側の困難感も強くなります。続いて不眠, 不安・焦燥, 抑うつ・意欲低下の順となっています。

回診患者の背景は、診療科・病名ともにさまざまですが、とくに高齢者が多い心不全や大動脈疾患, 脳梗塞の患者が多い傾向にあります (図2)。また、回診患者はより高齢者が多く、平均在院日数も有意に長くなります (図3)。さらに、入院

メモ 1

#### 精神科リエゾンチーム加算

平成24年度診療報酬改定において精神科リエゾンチーム加算が新設されました。一般病棟に入院中で、せん妄や抑うつを有する患者、精神疾患を有する患者、自殺企図で入院した患者に対して、精神科医療に係る専門的知識を有した精神科リエゾンチームによる診療が行われた場合は、200点を週1回算定することができるようになりました。身体疾患患者が抱えるメンタルヘルスの問題に対する支援の重要性が反映された結果といえます。

メモ 2

#### 専門看護師

医師に専門医制度があるように、看護師にも専門看護師制度があります。専門看護師は看護系大学院修士課程の修了者で、認定資格試験に合格して、日本看護協会によって認定された看護師のことをいいます。専門看護分野は精神看護の他に、がん看護, 地域看護, 老人看護, 小児看護, 母性看護, 慢性疾患看護, 急性・重症患者看護, 感染症看護, 家族支援, 在宅看護があり、2015年1月時点で1466名が認定を受けています。